

読書週間特別企画

共読

期間：11月7日(月)～10日(木)

「共読」とは同じ本をみんなで読み、本を勧めたり、読み合わせたり、話し合う読書の方法です。

4日間、**宮沢賢治**の作品をみんなで読み、**休み時間・給食の時間**などに感想を交流してみませんか？「**よだかの星**」は全員読んでみてください！

作品一覧

銀河鉄道の夜・セロ弾きのゴーシュ・やまなし・永訣の朝・雨ニモマケズ・注文の多い料理店・春と修羅・山猫とどんぐり・風の又三郎・よだかの星

- 経歴：1896 岩手県花巻市に生まれる
1921 童話を多く書く。農学校教諭となる
1922 妹トシ死去「永訣の朝」「無声の慟哭」
1926 農学校を退職
1928 稲作指導に奔走。過労から衰弱。
1931 病床で手帳に「雨ニモマケズ」を記す。
1933 急性肺炎のため死去

～エピソード～

- *小学生の頃には川原での石拾いに熱中し「石コ賢さん」と呼ばれていた。
- *岩手を愛し、作品中には岩手の風景をモチーフにした架空の国「イーハトーブ」が登場する。
- *音楽や絵画にも親しむ。よくレコードを購入したりセロのレッスンを受けたりしていた。
- *生前は無名であった。「銀河鉄道の夜」も没後世に広まった。



宮沢賢治